

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 2年 3月 30日

事業所名：障害児通所支援事業所 ヴィレッジあこ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点等	
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	3	プレイルームにいとなくなると目が届きにくいいため、職員が付き添うことになる。 児童の発達及び障害特性によりスペースを分けた指導訓練室が必要であると思う。	
	② 職員の配置数は適切である	4	2	送迎のために残る職員が少なくなる時の安全面の配慮がしにくい時がある。 児童の体力的なことも含め、男性指導員が今度必要となってくるのではと思う。 人数的にはクリアできていると思われるが、児童の成長や体力面を考えると男性指導員の配置が必要。 男児が多いため、男性指導員を増やしてほしい。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている			6	バリアフリーになっていない。 分かりやすい環境とは言えないと思う。 障害の程度により危うい。環境への配慮が多くあると思う。 事業所が2階であるため障害の特性に応じるのが難しい。 もともと他の用途で作られた建物のため、バリアフリーや子ども向けではないと思う。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	3	2 部屋を勉強や訓練の場として確保しているが、教材を置くスペースがあればもう少し効率がいいのではと思う。 個室を宿題やリラックス等できる部屋として活用している。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6			
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	保護者向けの評価表に対する話し合いの場がまだされていない。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	3	今年度開所のためまだ実施できていない。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			6	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		児童発達においての利用施設（利用児童）との意見交換を多くとりたい。 今後も必要だと思う。	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	1		
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	独自で作成したアセスメントツールを使用しているが、適応行動の状況が把握できるものとは思わない。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		内容は設定されているが、支援ができていないのか？と思う。	

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		行事や実習等の立案を全員が話し合いながら決めている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	5	1	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2	指導員の出勤時にはすでに児童が来所していることもあり、事前確認ができないこともある。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		雑談のようなスタイルではあるが共有していると思う。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	4
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		6	今後進めていきたい支援であると思う。
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		4	利用児に対し今後取り組んでいかなければいけないと思う。
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		4	
㉕		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	5	今後取り組むべきだと思う。
㉖		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	5	今後取り組むべきである。
㉗		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		6	他の事業所の研修会に参加させていただき、職員の方から利用児童の様子を聞いたり、訓練の見学をさせてもらい勉強になった。 今後取り組むべきである。
㉘		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		6	法人内の他事業所の催し物に参加させていただき、法人内保育園の園児の踊り等を見て利用児童が喜んでいる姿が見られた。 今後実施したいと思う。
㉙		(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		6	機会があれば参加したい。
㉚		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	3	もっと具体的に保護者の方と話し合いができ、利用時に対し必要な支援がしたいと思う。 あまりできていないように思う。

保護者への説明責任等	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		6	
	③②	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	1	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	4	定期的ではないが、気になる様子を保護者の方にお知らせしたり、保護者の方から相談された場合には上司に報告し支援できるように対処した。 送迎時に話ができる方、できていない方がいる。悩みを抱えている保護者は多いと思うため、必要な支援であると思う。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	2	3	相談や申入れを受ける機会があまりない。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や表示予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意している	6		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		もっと定期的に回数を増やす。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1	もう少し定期的に回数を増やす。 備蓄品やヘルメット等、準備がされていない。
	④③	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	3	3	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	アレルギーのある利用児童がいないため、対応していない。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		職員間で話し合い、共有できるようにしている。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	3	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	4	他害の特性を利用時においては他の利用施設との連携によって対応すべきである。 該当する児童がいない。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。